

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I 法人の概況

1 設立年月日 昭和61年1月17日

2 定款に定める目的

当公益財団法人は、静岡県における教育研究の高揚と充実に図り、青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 県内の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校・高等学校（以下「学校等」という。）及び教育研究諸団体で教育に関して優れた研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等及び教育研究諸団体の顕彰及び奨励助成。（幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む）
- (2) 静岡県内の学校等で教育に関して優れた研究を行い又は顕著な実績を挙げている教職員の顕彰及び奨励助成。
- (3) 教育研究に関する講演会・研修会・出版等の事業。
- (4) その他、当財団法人の目的を達成するために必要な事業。

4 所轄官庁

静岡県教育委員会 教育総務課

5 会員の状況

該当する会員はなし。

6 主たる事務所・支部の状況

主たる事務所 静岡県静岡市清水区辻一丁目1番1号

支部の状況 該当する支部はなし。

7 役員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

(1) 理事

役職	氏名	任期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
理事長	後藤 康雄	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
副理事長	宮崎 總一郎	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
常務理事	木内 藤男	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	木苗 直秀	令和4年6月	非常勤	辞退	県教育長
理事	赤堀 文宣	令和4年6月	非常勤	辞退	静岡市教育長
理事	花井 和徳	令和4年6月	非常勤	辞退	浜松市教育長
理事	長谷川 了	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	服部 泰啓	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	安倍 徹	令和4年6月	非常勤	15千円/回	前県教育長
理事	池谷 眞樹	令和4年6月	非常勤	15千円/回	前静岡市教育長
理事	児玉 一記	令和4年6月	非常勤	15千円/回	前浜松市教育長
理事	中西 勝則	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	酒井 公夫	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	後藤 加壽子	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
理事	後藤 佐恵子	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照

(2) 監事

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
監事	大石 剛	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
監事	高木 雅宏	令和4年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照

(3) 評議員

役 職	氏 名	任 期	常勤・非常勤	報酬等	他法人代表等
評議員	宮崎 文秀	令和6年6月	非常勤	辞退	県教育部参事兼県教委課長
評議員	本多 伸治	令和6年6月	非常勤	辞退	県教委課長
評議員	大石 昌宏	令和6年6月	非常勤	辞退	県私学振興課長
評議員	奥村 篤	令和6年6月	非常勤	辞退	沼津市教育長
評議員	千葉 一道	令和6年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
評議員	岡島 均	令和6年6月	非常勤	辞退	静岡市教委
評議員	野秋 愛美	令和6年6月	非常勤	辞退	浜松市教委
評議員	鈴木 藤一	令和6年6月	非常勤	15千円/回	附属明細書参照
評議員	香田 賢治	令和6年6月	非常勤	辞退	附属明細書参照

(4) 役員等の報酬

区 分	人 数	報 酬 等 の 総 額	備 考
理 事	15名	年間200万円を超えない	内、公務員3名は報酬辞退
監 事	2名	上記に含む	
評議員	9名	年間50万円を超えない	内、公務員他7名は報酬辞退

8 顧問及び選考委員等

(1) 定款第37条に基づき顧問を置く。

- ・3名、任期は特に定めない、非常勤。
- ・報酬：1回の出席につき、15千円、年間50万円を超えない。交通費等実費支払。

(2) 定款第54条に基づき委員会（選考委員会、選考準備委員会）を置く。

- ・各委員会ごとに7名～10名程度の委員を置く。非常勤。任期は2年、再任を妨げない。
- ・報酬：1回の出席につき、15千円、年間50万円を超えない。

9 職員に関する事項（令和3年3月31日現在）

職 名 等	氏 名	就任月日	担当事務	備 考
事務局長	立花 毅	H 31. 3. 1	運営全般	各会議・委員会日程等調整
副事務局長	植屋 雅之	R 3. 3. 20	経理他	各事業支払、財務
事務局次長	望月 修次	H 27. 4. 1	事務方全般	事務局長補佐
事務局参与	長嶋 誠一郎	H 29. 1. 1	経理他	各事業支払、財務(非常勤)
広報担当 アドバイザー	後藤 すみれ	R 2. 4. 1	広報編集	広報全般アドバイザー
アドバイザー	竹川 暢昭	R 2. 4. 1	全般	教育関連アドバイザー (非常勤)
事務	佐藤 恵	H 26. 4. 1	一般事務	パート(常勤)
選考協力委員	6名	H 30. 4. 1	資料作成等	顕彰事業手伝い(非常勤)

10 許認可に関する事項

- ・平成24年3月19日付け公益財団法人認定
法人コード:A005042、代表者:後藤 康雄、認定後名称:公益財団法人はごろも教育研究奨励会
所在場所:静岡市清水区辻一丁目1番1号。
- ・平成27年3月26日付け事業変更認定
「食育支援事業」「施設等拡充支援事業」の業務拡大に対応するため「教育関連事業に対する支

援事業」を追加。

・令和2年12月25日付け事業変更認定

公益目的事業Ⅰに「教職員等への安全・安心に係る教育活動に対する支援事業」を追加。

Ⅱ 財団事業

1 事業の実施状況

(1) 教育研究助成事業

県内において有効適切な研究テーマを設定して、意欲的に教育研究に取り組もうとする学校等及び教育研究諸団体に対して、授与要項に基づいて助成金を授与し教育研究に対する助成を行った。

・令和2年3月初旬 「令和2年度(第20回)はごろも教育研究助成賞」の授与要項を県内の学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,641件)。

・令和2年5月8日 応募締切 応募総数は66件。

内訳 単年度は44件、複数年度は22件。

・令和2年5月14日～5月21日 選考準備委員による受賞候補の予備選考を実施した。

・令和2年6月2日 選考委員・選考準備委員合同委員会で受賞候補の選考を実施した。

選考結果を理事長に報告し、助成賞47件が承認された。

内訳 単年度は31件、複数年度は16件。

・令和2年7月13日「令和2年度(第20回)はごろも教育研究助成賞」の授与式を予定したが新型コロナウイルスの影響で中止し、受賞校には賞状等を選考協力委員・事務局員にて各学校に持参した。

(2) 教育研究奨励事業

県内において優れた教育研究を行い、又は顕著な実績を挙げている学校等並びに教職員に対して、授与要項に基づき顕彰及び奨励を行った。

・令和2年6月初旬「令和2年度(第35回)はごろも教育研究奨励賞」の授与要項を県内の学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,631件)。

・令和2年10月30日 応募締切 応募総数は178件。

内訳 学校賞は25件、グループ賞は24件、個人賞は129件。

・令和2年11月10日～令和2年12月28日 選考準備委員による予備選考実施。

・令和3年1月21日 選考委員・選考準備委員合同委員会で受賞候補の選考を実施した。

選考結果を理事長に報告し、奨励賞76件が承認された。

内訳 学校賞は13件、グループ賞は12件、個人賞は51件。

・令和3年2月12日「令和2年度(第35回)はごろも教育研究奨励賞」の授与式を挙行了した。

(3) 『夢』講演会事業

学校等、教育研究諸団体や、児童生徒には、講話を通して学ぶ意欲や生きる力を育み、教職員には講演会や直接指導を通じ、資質や指導力の向上を図り、本県の学校教育の充実・振興と青少年の健全育成に寄与することを目的とした。

①令和2年度第16回はごろも『夢』講演会は、令和元年11月30日に応募を締切。応募数82件、開催回数113回となった。選考の結果、82件、開催回数113件を採用した。

・令和2年4月1日より令和3年2月までに53件72回が実施された。なお、今年度は新型コロナウイルスの影響で41回の中止。参加者数は年間延べ、11,177人となった。

②令和2年9月初旬「令和3年度(第17回)はごろも『夢』講演会の実施・応募要項を県下学校等並びに教育関係機関へ発送した(1,637件)。

・令和2年11月30日 応募締切 応募数は68件、開催回数は91回。

・令和2年12月10日 選考委員会を開催、選考の結果、68件91回を採用とした。

・令和2年12月16日 選考結果を理事長に報告し、原案通り承認された。

・開催実施期間は令和3年4月1日より令和4年2月末まで、視察予定は70回程度を見込む。

(4) 「教職員の海外交流支援派遣者」事業

教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、姉妹都市交流等を支援することにより、青年の健全育成に寄与することを目的として行った。

本事業による支援は、県内を静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、浜松市教育委員会、静岡

県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課が所管する区域に分けて個別に行う。

- ・ 支援対象は、派遣区域内の学校等及び教育委員会が行う海外交流事業。
- ・ 単年度の派遣者数は、24 人以内、旅費と滞在費の補助は、1 人につき 50 万円以内とする。

①令和 2 年度第 10 回教職員の海外交流支援派遣者事業を延期した。

- ・ 令和元年 12 月 31 日 第 10 回教職員の海外交流支援派遣者応募締切。
- ・ 令和 2 年 1 月 23 日 教職員の海外交流支援派遣者選考委員会開催、支援派遣候補者 24 名を選考。選考結果を理事長に報告し、原案通り 24 名の海外派遣者が承認された。静岡県教育委員会 10 名、静岡市教育委員会 5 名、浜松市教育委員会 5 名、静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課で 4 名(県私立幼稚園振興協会 2 名・県私学教育振興会 2 名)。
- ・ 令和 2 年度派遣者は、新型コロナウイルスの影響で、派遣が困難と判断。令和 3 年度に延期をした。
- ・ 令和 3 年 2 月に推薦先・派遣者に確認したところ、4 名が辞退・派遣中止により 20 名が令和 3 年度に延期となる。

②令和 3 年度第 11 回教職員の海外交流支援派遣者事業

- ・ 令和 2 年 12 月 31 日 第 11 回教職員の海外交流支援派遣者応募締切。
- ・ 令和 3 年 1 月 21 日 教職員の海外交流支援派遣者選考委員会開催、支援派遣候補者 19 名を選考。選考結果を理事長へ報告し、原案通り 19 名の海外派遣者が承認された。静岡県教育委員会 10 名、静岡市教育委員会 4 名、浜松市教育委員会 5 名、静岡県スポーツ・文化観光総合教育局私学振興課 0 名。
- ・ 令和 3 年度派遣者は、令和 2 年度派遣者を含めて 39 名の派遣となる。
- ・ 令和 3 年度派遣者については、今後の状況を考え、慎重に対応する。

(5)食育支援事業

本事業は、平成 22 年に県教育委員会が「学校における食育ガイドライン」で、学校における食育推進の重要性を公表したことを受け、当財団としても青少年の健全育成に寄与する大事な教育活動として捉え、学校の食育支援事業の推進の支援、助成を行う。

具体的には「直轄事業」として各教育委員会、教育研究諸団体に対し当財団が、主体的に講演活動等を行う。「支援事業」としては、講演会費の助成、設備費及び資料作成費等、学校給食における様々な要望に対して支援活動を行う。

①直轄事業（自主事業）

- ・ 計画、実施なし。

②支援事業

ア 静岡県教育委員会

- ・ 令和 2 年 7 月 食育啓発リーフレット作成費の助成。
- ・ 中止 第 10 回親子でつくる学校給食メニューコンクール費用の助成。

イ 静岡市教育委員会

- ・ 令和 2 年 12 月 食文化おせちペーパークラフト作成費の助成

ウ 浜松市教育委員会

- ・ 令和 2 年 8 月 保存食用冷凍庫 3 台購入費の助成。
- ・ 令和 2 年 11 月 食育啓発クリアファイル 対象：小学生 作成費の助成。
- ・ 中止 学校給食従事者夏季全体研修会講師費用の助成。

エ 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・ 令和 2 年 1 月 県私学協会 第 10 回私立中・高生の料理レシピアイデアコンテスト費用の助成。

会場：11 月 9 日ホテルグランヒルズ静岡 コンテスト入選者他約 150 名出席費用の一部助成。

(6)施設等拡充支援事業

本事業は、県下の教育機関等の施設等拡充支援要請を受け、公的教育機関の施設等拡充を図ることを目的とする。

①直轄事業（自主事業）

- ・ 財団設立 35 周年記念追加支援事業
県内 3 教育センター・静岡県私学協会の ICT 設備の整備事業の助成。
令和 3 年 2 月 12 日 目録贈呈式を挙行了。

②支援事業

- ・計画無し、実施なし

(7) 教育関連事業に対する支援事業

本事業は、平成27年より新設された事業で、県教育委員会、市教育委員会、私学協会等に関連する事業であり、県下教育施設の児童生徒、教職員に直接還元される支援事業である。

①直轄事業（自主事業）

- ・NPO キッズアートプロジェクト（県教育委員会義務教育課）
ミュージアムパスポート作成費の助成。
- ・公益財団法人 徳川記念財団（県教育委員会義務教育課）
徳川家康公顕彰作文コンクール費用の助成。
- ・財団設立30周年記念事業（県教育委員会）
県教育委員会事業の「ふじのくにグローバル人材育成基金」へ、平成28年度4千万円を拠出した。以降、毎年1千万円を令和4年度まで助成により、総額1億円の拠出を実施中。
- ・ふじのくに地球環境史ミュージアム（県スポーツ・文化観光部）
連続講座・オムニバス講座 計12講座開催費用の助成。
- ・財団設立35周年記念事業
県下全教職員に190万枚（1人50枚）のマスクを提供。

②支援事業

ア. 静岡県教育委員会

- ・令和2年5月 教職員の教職大学院派遣者への支援（1人10万円助成）
- ・令和2年7月 人権教育推進事業「静岡県人権教育の手引」作成費の助成。
- ・令和2年9月 小中新入生親学講座事業「バック型ファイル」の作成費の助成。
- ・令和3年2月 英語教育推進事業（TOEIC L&R IP 受験料及び自主学習教材等）の助成。
- ・令和3年2月 発達障害等の生徒支援事業・高校特別支援教育研究事業支援の研修費助成。
- ・令和2年2月 静岡県高等学校ビブリオバトル事業 リーフレット作成費の助成。
- ・中止 日中青年代表交流発展事業の参加者14名の費用半額の助成。
- ・中止 教職員の海外派遣研修 アントレプレナーシップ研修の助成

イ. 静岡市教育委員会

- ・令和2年5月 教職員の教職大学院派遣者への支援（1人10万円助成）
- ・令和3年2月 しずおか学副読本の作成費の助成。
- ・中止 グローカル教育推進事業の助成

ウ. 浜松市教育委員会

- ・令和2年5月 教職員の教職大学院派遣者への支援（1人10万円助成）

エ. 静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局私学振興課

- ・中止 県私学協会 保護者会総会記念講演会講師料の助成。

(8) 教育研究啓発事業

教育研究の啓発に資するため、令和元年度（第34回）奨励賞及び令和元年度（第19回）助成賞の各受賞者の研究成果を「受賞者研究成果集」として編集し、令和2年6月に1,631件、また令和元年度（第15回）はごろも『夢』講演会実施報告を収録及び令和元年度（第9回）教職員の海外交流支援派遣者視察報告書を編集し、令和2年8月に1,637件を県内学校等並びに教育関係機関に発送。また、奨励賞個人賞受賞者及び『夢』講演会各講師・海外派遣者に送付。

(9) 学校訪問

今後の事業運営の参考に資するため学校訪問を行った。

①令和2年度（第20回）はごろも教育研究助成賞受賞校及び複数年度受賞校

- | | | |
|----------------|-----|------------|
| ・掛川市立北中学校 | 訪問日 | 令和2年8月26日 |
| ・静岡市立番町小学校 | 訪問日 | 令和2年9月8日 |
| ・静岡大学教育学部附属幼稚園 | 訪問日 | 令和2年9月15日 |
| ・静岡市立梅ヶ島小中学校 | 訪問日 | 令和2年9月17日 |
| ・伊豆市立熊坂小学校 | 訪問日 | 令和2年9月26日 |
| ・静岡県立伊東商業高等学校 | 訪問日 | 令和2年9月30日 |
| ・浜松市立広沢小学校 | 訪問日 | 令和2年10月14日 |

・静岡県校長会 訪問日 令和2年11月20日

・静岡大学教育学部附属特別支援学校 訪問日 令和2年11月18日

②令和2年度『夢』講演会実施、53件・72回開催。新型コロナウイルスの影響で41回中止。視察は54回。

『夢』講演会実施会場視察（令和2年4月～令和3年2月）は協力委員6名と事務局員。

2 重要な契約に関する事項

令和2年8月1日 本年も引き続き双研日栄監査法人による当財団の業務及び会計について同社と監査契約を締結。

契約目的：令和2年度（第36会計年度）会計監査。

3 役員会等に関する事項

(1) 理事会

①令和2年度第1回通常理事会

開催日時 令和2年6月2日(火) 13:00～14:45

開催場所 ホテルセンチュリー静岡

報告事項 職務執行状況報告、令和2年度(第20回)教育研究助成賞受賞者報告、令和2年度(第10回)教職員の海外交流支援派遣者報告、令和2年度(第16回)『夢』講演会報告、令和元年度基本財産等運用報告、「株主の権利の行使」の各報告。

審議事項 令和元年度事業・決算報告、会計監査人の報酬額、退任理事の顧問就任、役員退任者への慰労記念品贈呈、令和2年度定時評議員会開催及び議案、第1回臨時理事会開催の各承認。

②令和2年度第1回臨時理事会

開催日時 令和2年6月16日(火) 12:00～13:30

開催場所 ホテルアソシア静岡

報告事項 定時評議員会報告

審議事項 理事長・副理事長・常務理事の選定、設立35周年記念事業、当財団理事が代表を務める会社との取引の各承認。

③理事会決議の省略「みなし決議」

決議があったとみなされる日 令和2年6月23日(火)

議案 はごろもフーズ(株)第91期定時株主総会において、原案に賛成の議決権の行使の承認。

④令和2年度第2回臨時理事会

開催日時 令和2年11月6日(金) 9:30～11:00

開催場所 グランディエールブuketウカイ

報告事項 令和2年度上期職務執行状況報告、令和2年度事業検討委員会報告書(答申)の各報告。

審議事項 静岡市教育委員会食育支援事業追加、設立35周年記念事業教職員へのマスク提供に関する、公益目的事業の内容の変更認定申請、設立35周年記念追加支援事業、令和2年度収支予算第1次補正予算案、令和3年度(第21回)助成賞授与要項案、令和3年度(第36回)奨励賞授与要項案、令和4年度(第18回)『夢』講演会実施応募要項案、令和4年度(第12回)教職員の海外交流支援派遣実施要項案の各承認。

⑤令和2年度第2回通常理事会

開催日時 令和3年2月12日(金) 10:30～12:00

開催場所 ホテルグランヒルズ静岡

報告事項 令和2年度下期職務執行状況報告、令和2年度(第35回)奨励賞受賞者報告、令和3年度(第17回)『夢』講演会企画採用者報告、令和2年度(第10回)教職員の海外交流支援派遣者確認報告、令和3年度(第11回)教職員の海外交流支援派遣者報告の各報告。

審議事項 設立35周年記念追加支援事業、令和2年度第2次収支補正予算案、令和3年度基本財産運用計画案、令和3年度事業計画案、令和3年度収支予算案、役員退任者への慰労記念品贈呈、決議の省略による評議員会開催及び議案、令和3年度日程案の各承認。

(2) 評議員会

①令和2年度定時評議員会

開催日時 令和2年6月16日(火) 10:00~11:15
 開催場所 ホテルアソシア静岡
 報告事項 令和元年度事業報告、令和2年度事業計画、設立35周年記念事業の各報告。
 審議事項 令和元年度決算、令和2年度会計監査人の選任、定款の一部改定、理事・監事の任期満了に伴う選任、評議員の任期満了に伴う選任の各承認。

②評議員会決議の省略「みなし決議」

決議があったとみなされる日 令和2年7月30日(木)
 議案 定款一部改定案の承認。

③評議員会決議の省略「みなし決議」

決議のあったとみなされた日 令和3年3月1日(月)
 議案 監事選任の件

4 収支及び正味財産増減並びに財産の状況の推移

(単位：千円)

事業年度	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
前期繰越収支差額	17,412	20,156	17,870	18,752	17,913
当期収入合計	226,205	185,896	172,939	169,051	243,733
当期支出合計	223,460	188,182	172,057	169,890	243,558
当期収支差額	2,745	-2,286	882	-839	175
次期繰越収支差額	20,157	17,870	18,752	17,913	18,088
資産合計	3,635,950	3,675,048	3,692,941	3,712,825	3,718,478
負債合計	3,463	3,270	1,561	1,918	2,704
正味財産	3,632,487	3,671,778	3,6791,380	3,710,907	3,715,775

Ⅲ 法人の留意点と課題

1 事業運営上の留意点と課題

(1) 平成24年4月1日公益財団法人に移行、平成27年度は財団設立30周年を迎え、静岡県教育委員会が平成28年度より実施の「ふじのくにグローバル人材育成事業」に、30周年記念事業として、平成28年度は4千万円、以降令和4年度まで毎年1千万円、総額1億円の拠出案を平成27年度第2回理事会(平成28年2月16日開催)にて承認を得る。

(2) 公益財団法人に移行後、支援要請による直接支援事業が多岐となったため、平成27年度より、変更認定申請の承認を受け追加事業「教育関連事業に関する支援事業」を加えた。結果として、事業の拡充が図られ、よりきめの細かい、各教育現場の支援が可能となった。

(3) 各顕彰事業

①「奨励賞」事業 平成30年度は134件。令和元年度は137件、令和2年度は178件に増加。

②「助成賞」事業 平成22年度第10回より、複数年度を創設し、99件の応募があったが、平成30年度は93件、令和元年度は60件、令和2年度は66件と前年より若干増加。

<対策> 上記課題に対し、従来よりHPや年間の事業チラシを製作、配布してPR活動を実施している。平成25年3月からは、毎年、各校長会及び教育センター等の教育機関へ事業チラシの直接配布を実施、また、広報「はごろもの風」の平成27年4月号からは、事業チラシ3000部を折込み、学校等、教育研究諸団体へ配布をしているが、今年度より作成した事業ポスターと一緒に配布。

③「『夢』講演会」事業 平成28年度には、より多くの応募を募るため、助成金額を20万円から15万円としたが、応募件数は79件、開催件数104回。平成29年度は応募件数95件(採用94件)、開催件数130回(採用129回)、平成30年度は応募件数90件、開催件数118回(全て採用)、令和元年度は応募件数83件(採用82件)、開催件数106回(採用105回)、令和2年度は応募件数82件、開催回数113件(全て採用)に留まり広がりが見られないため、第17回より学校が希望する講師を呼びやすくするためにも助成金額を15万円から20万円に変更。

④「教職員の海外交流支援派遣者」事業 教職員の「多文化共生教育」のための国際交流、並びに姉妹都市交流等を支援することにより、互いの言語や文化などの価値観の違いを理解し、良好な人間関係を大切にす青少年の健全育成に寄与することを目的として、平成23年より実施。平成29年3月に告示された新学習指導要領が小学校では令和2年4月より全面实施され、英語が教科化さ

れ、グローバル化の進展や、多文化共生教育の推進をすべての教職員に求めており、当事業の必要性が高まっている。派遣人数の増加も含め、事業の拡充を課題として、平成 30 年 8 月開催の平成 31 年度事業検討委員会で検討、派遣人数を 13 名から 24 名への増加を理事会に提案、承認を得る。

⑤「食育」「施設等拡充」「教育関連事業」の各支援事業は、県内各教育委員会及び私学協会等からの支援要請に基づき審査を行い、具体的に助成、教育の充実を図ることが目的であり、各団体の支援要請に対し支援をするため、公正・公平性の維持に努める。

＜対策＞ 要請内容が妥当かどうか検討し、事業検討委員会及び選考委員・選考準備委員合同委員会にて其々の内容を検討、審査、理事長の了解を得て予算化を計り、理事会の承認を得る。

2 事業運営財源の留意点と課題

事業運営財源の大半をはごろもフーズ(株)株式の配当金に依存しており、現状は安定している。しかしながら、不安定な経済状況の中では、これまで以上に基本財産の維持に努め、安全で効率的な運用を図る。

IV 株式の 20%以上を保有している営利企業の概要

1 名称

はごろもフーズ株式会社

2 事務所の所在地(本店所在地)

静岡市清水区島崎町 151 番地

3 資本金等

144,166 万円

4 主な事業内容

缶詰・レトルト食品・ギフトセット・パスタ・パスタソース・花かつお・海苔・ふりかけなどの各種食品の製造販売

5 役員の数及び代表者の氏名(令和 2 年 6 月 26 日現在)

(1) 役員の数 取締役 16 名 監査役 5 名

(2) 代表者の氏名 後藤 康雄(代表取締役会長) 後藤 佐恵子(代表取締役社長)

6 従業員の数(令和 2 年 6 月 26 日現在)

673 名

7 当財団法人が保有する株式数及び当該営利企業の総株式数に占める割合

(1) 当財団法人の保有株式数 4,391,715 株

(2) 当財団法人の持株比率 46.67%

8 保有する理由

当財団法人が設立された際、はごろもフーズ株式会社の役員から財団事業の運営資金に資するために寄附されたものであり、その後も役員からの寄附や株主割当増資等により持株数も増加した。この配当金収入を教育研究奨励事業等の資金として活用するためである。

9 当該株式の入手日

昭和 61 年 6 月 30 日

10 当財団と当該営利企業との関係(人事、資金、取引等)

(1) 当財団法人は、はごろもフーズ株式会社が創業 55 周年を迎えた際、顧客をはじめ関係各位のご恩顧に報いるために、利益の一部を社会に還元しようと基金を拠出して、県内の教育研究を奨励し教育研究の一層の高揚と充実を目的として設立されたものである。

(2) 当財団の役員として、同社の代表取締役会長、代表取締役社長が理事として就任している。

(3) 資金、取引等についての関係はない。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

決算期後に当財団法人の収支や正味財産の状態に重要な影響を及ぼす事実はなし。

事業報告の附属明細書

1 役員等の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

令和3年3月31日現在

区分	氏名	兼職先法人等	兼職の内容	備考
理事長	後藤 康雄	はごろもフーズ(株)	代表取締役会長	
副理事長	宮崎 總一郎	清和海運(株)	代表取締役会長	
常務理事	木内 藤男	木内建設(株)	代表取締役会長	
理事	木苗 直秀	静岡県教育委員会	教育長	
理事	赤堀 文宣	静岡市教育委員会	教育長	
理事	花井 和徳	浜松市教育委員会	教育長	
理事	長谷川 了	(公社)静岡県私学教育振興会	理事長	県私学協会会長
理事	服部 泰啓	学校法人 信愛学園	理事長	前県私学協会会長
理事	安倍 徹	学校法人 沼津学園	学園長	前静岡県教育長
理事	池谷 眞樹			前静岡市教育長
理事	児玉 一記			前浜松市教育長
理事	中西 勝則	(株)静岡銀行	代表取締役会長	
理事	酒井 公夫	静岡鉄道(株)	代表取締役会長	
理事	後藤 加壽子	料理研究家		
理事	後藤 佐恵子	はごろもフーズ(株)	代表取締役社長	
監事	大石 剛	(株)静岡新聞社	代表取締役顧問	
監事	高木 雅宏	静岡市文化振興財団	理事長	元静岡市教育長
評議員	宮崎 文秀	静岡県教育委員会事務局	教育部参事兼 義務教育課長	
評議員	本多 伸治	静岡県教育委員会事務局	高校教育課長	
評議員	大石 昌宏	静岡県スポーツ・文化観光部 総合教育局	私学振興課長	
評議員	奥村 篤	沼津市教育委員会	教育長	
評議員	千葉 一道	(一社)静岡県私立幼稚園振興協会	理事長	
評議員	岡島 均	静岡市教育委員会教育センター	所長	
評議員	野秋 愛美	浜松市教育委員会学校教育部	指導課長	
評議員	鈴木 藤一	(公社)静岡県私学教育振興会	事務局長	県私学協会事務局
評議員	香田 賢治	はごろもフーズ(株)	理事総務部長	

2 その他の記載事項

他、事業報告の内容を補足する重要な該当する記載事項はなし。